

# Osaka Metro まちさんぽ

瑞光四丁目駅

90分  
コース

今里筋線 瑞光四丁目駅

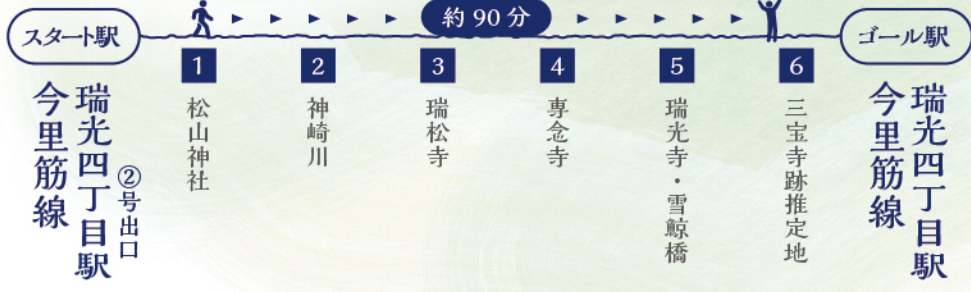
説話に彩られた瑞光・小松

## 村人たちが伝えた中島の物語を訪ねて

神崎川と中津川(旧淀川)に囲まれたこの地は、古くは中島と呼ばれていました。幾筋もの井路川が流れて、小松が繁る美しい原野でした。それに感動した菅原道真が「小松の詩」を吟じ、そこから小松村という地名が生まれました。のちに三宝寺という巨大な禅寺が興りました。江戸時代には水利を活かした豊かな農村になりました。



今里筋線  
瑞光四丁目駅



平安時代末期、この地には大日房能忍という禅僧が三宝寺という巨大な寺を建立して達磨宗の布教を始めました。寺域は東淀川区を覆うほどであったといわれています。三宝寺はその後に戦乱にまみれて廃絶しましたが、跡地にできた農村にはいくつもの寺院が創設されました。

新型コロナウイルス  
感染拡大防止のために

- 体調が優れない場合のご参加はお控えください。
- マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
- 混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

## 村人たちが伝えた中島の物語を訪ねて

神崎川と中津川(旧淀川)に囲まれたこの地は、古くは中島と呼ばれていました。幾筋もの井路川が流れて、小松が繁る美しい原野でした。それに感動した菅原道真が「小松の詩」を吟じ、そこから小松村という地名が生まれました。のちに三宝寺という巨大な禅寺が興りました。江戸時代には水利を活かした豊かな農村になりました。

スタート駅



約 90分



ゴール駅

### 今里筋線瑞光四丁目駅②号出口

### 今里筋線瑞光四丁目駅

#### 1 松山神社



太宰府に流される菅原道真が、淀川を下ってこの地にさしかかった折、繁茂する小松の景色に感動して詠んだ漢詩「小松経幾日不変蒼青々…」から、この地が小松という地名になりました。村人たちは、道真の没後に祠を建て、村の氏神として崇めました。ずっと「小松の天満宮」と呼ばれていましたが、明治4年(1871)に松山神社と改めました。

#### 2 神崎川

神崎川は、淀川河口の難波津に土砂が堆積して船の運航が不順になったため、バイパスとして延暦3年(784)に和氣清麻呂が淀川の江口からいまの合流点より上流の三国川(安威川)へ直結させました。それ以来、京都から瀬戸内海へ抜ける主要な河川路になり、分岐する江口や中流の吹田、河口の神崎が港として栄えました。江口や神崎は当代一の歓楽地として知られました。川筋が蛇行していたために氾濫を繰り返し、現在のように直線の流れに付け替えられたのは明治11年(1878)のことで、現在の安威川合流点までは狭い川幅が続きます。



#### 3 瑞松寺

天正9年(1581)、浄土真宗顕如上人の弟子、明道によって創建されました。瑞松寺の山号は涙池山という悲しい名前です。平家の武将・平景清が源氏との戦いに敗れて、伯父の大日房能忍の三宝寺に匿われたとき、誤って伯父を殺害してしまい、涙にむせびつつ池で血刀を洗ったという故事によります。涙池は小松公園にありました。また、瑞松寺には「狸ぐすり」の説話があります。和尚に命を助けられた身重の狸が、恩返しで腫物一切に効く吸い出し薬の処方を受けたという話です。瑞松寺にはその処方が残っていて、昭和の初めまで販売していたそうです。



#### 4 専念寺

寛永20年(1643)、天満の専念寺の諦誓雲漢ていせいうんげんが小松村に霊場を建てて隠棲したのがはじまりです。寺に祀られている大日如来坐像は、かつての三宝寺大日院の本尊と伝えられています。また、寺の本尊の阿弥陀如来坐像は恵心僧都の作とされます。



#### 5 瑞光寺・雪鯨橋



寛永20年(1643)、臨済宗の天然が、かつての三宝寺の白砂の地に松を植え、庵を結んで観世音を祀ったことがはじまりで、二世・北禅和尚が、かつての三宝寺の瑞光院を移して瑞光寺と改称しました。宝暦6年(1756)潭住知忍たんじゆうちんにん禅師が南紀・太地浦に立ち寄った際に、鯨漁の不漁に苦しんでいた漁民から豊漁祈願を頼まれました。禅師は殺生を嫌って断りつづけましたが、ついに漁民の懇願を聞き入れて祈祷したところ鯨の大漁になりました。漁師たちはお礼に黄金30両と鯨骨18本を瑞光寺に贈りました。禅師は鯨骨で橋を造り、鯨の冥福を祈りました。橋は骨の白さから「雪鯨橋」と名づけられ、「難波一州の名奇」と評判を呼びました。当初は橋板も鯨骨でしたが、のちに石板になりました。現在は7代目で令和元年(2019)に太地町の鯨骨で架け替えられました。

#### 6 三宝寺跡推定地

能忍が建立した三宝寺は、七堂伽藍四十八房を備えた巨刹で、鎌倉初期に建造されといわれています。現在の大阪経済大学の南西に本堂があったと推定されます。東淀川区の地名・大道は、三宝寺の大道が縦横に通じていたことに因んでいるといわれています。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または 大阪あそ歩 で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

